

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2020年12月25日

事業所名：ラビット☆キッズ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価(26人)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員に応じたスペースは確保している。	はい:23 どちらともいえない:2 分からない:1 ・限られたスペースで、子どもたちがのびのびできるように工夫されていると思う。 ・限られた空間の中、最大限工夫してスペースを設けていると感じる。 ・少し狭いが活動内容で工夫されていると思う。	限られたスペースを有効活用しつつ、より良いサービスを実施していきたい。
	2 職員の適切な配置	適切である。	はい:24 分からない:2 ・いつもしっかり見ていただき感謝している。 ・子ども2人に対し、職員1人くらいついてくれている。	児童2名につき、職員1名の配置を継続していきたい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	やるべきことを絵や文字を提示し視覚化したり、パーテーションを用いて落ち着いた環境で過ごせるようにしたりするなど整備している。	はい:25 どちらともいえない:1 ・毎日同じ流れで本人もその流れを覚えてできるようになっているので満足している。 ・朝到着すると、自分で着替えなどの準備を片付けたり、身支度したりできている。 わかりやすいと思う。 ・色や絵での訴求など配慮されていると思う。 ・教室はわかりやすいように、絵で描いていたり、字が読めない子にもわかるように工夫されている。	今後も継続していきたい。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃し、清潔にしている。 空気清浄機、加湿器を稼働させている。	はい:25 分からない:1 ・清潔にされていて、遊ぶスペースもしっかりあると思う。 ・とても綺麗な教室だと思う。 ・特に気になることはない。 ・普段の様子を見る機会がないので、わからない。	今後も継続していきたい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月に1回ミーティングを行い、日々の業務を振り返り、検討会を行っている。		今後も継続していきたい。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	定期的に事業所内で研修を行っている。 外部研修にも積極的に参加してもらっている。		継続し、スキルアップを目指していきたい。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	適切にアセスメントを行い、サービス計画を作成している。		今後も継続していきたい。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に応じた計画を作成している。	はい:25 分からない:1 ・しっかり話を聞いていただき、具体的な内容で作成していただいた。	今後も継続していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価(26人)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもの支援に必要な項目、内容を記載している。		今後も継続していきたい。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に沿った支援を実施している。	はい:23 どちらともいえない:2 分からない:1 ・活動があまりよくわからないことがあり、支援内容が適切かは正直わからない。	分かりやすい提示の仕方を検討していきたい
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	訓練案、制作案など考えている。		今後も継続していきたい。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	子どもの状況に応じて、無理なくのびのびと過ごせるような支援を行っている。	はい:24 分からない:2 ・毎日新しいことを経験させてもらっている。 ・毎日違う制作や活動をしてくださっている。 ・月々のラビット通信に月案の予定表を掲示され毎日のプログラムが工夫されていることが伺える。 ・外遊びや制作、感触遊びなど、家でできないことを色々していただき、とてもありがたい。 ・プログラムを見る機会がないため、よくわからない。	今後も継続していきたい。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	体を動かす遊びや指先トレーニング、四季に応じた制作など、日々活動プログラムを考えている。 また天候が良いときは散歩や公園へ出かけたり、月に1回は遠足へ出かけたりしている。		今後も継続していきたい。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	業務日報にその日の支援内容、流れなどを記載し、確認している。 遠足、行事などの日は役割分担など事前に伝えている。		今後も継続していきたい。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	気付いた点など話したり、その場にはいない人に向けて職員間の連絡ノートに記入して共有している。		今後も継続していきたい。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	保育日誌に日々の支援を記録し、管理している。 月に2回会議で支援の検証、改善を行っている。		今後も継続していきたい。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的モニタリング、計画の見直しを行っている。		今後も継続していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価(26人)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	大半の児童がセルフプランのため、担当者会議が実施されていない。		関係事業者と共に話したり、相談したりできる関係を築いていきたい。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象児童がいない。		—
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象児童がいない。		—
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育園、幼稚園などと児童の様子、支援内容などの情報共有を行っている。		今後も継続していきたい。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	—		—
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	職員に向けて研修受講の促進を行っている。		今後も継続していきたい。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	機会を持っていない。	はい:8 どちらともいえない:3 いいえ:6 分からない:9 ・今年6月から通い始め一度もないが、(コロナの影響もあると思う)こども園と併用しているため問題ない。 ・状況がつかめず、よくわからない。 ・コロナの影響もあると思うが、健常児との交流は最近あまり聞かない。 ・他の子どもたちとの交流はない。もう少しあればいいと思う。	コロナの感染拡大のため、交流が難しくなっている。感染状況を見て、今後の交流再開を検討したい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	会社全体で夏祭りを開催している。		今年度はコロナの影響もあり全体行事の開催が難しかった為、感染症が終息したら行いたい。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明している。 変更があれば適宜口頭で説明し、書面でもお渡ししている。	はい:24 どちらともいえない:2 ・変更があればその都度連絡していただけるので、わかりやすい。	今後も継続していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価(26人)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時に説明している。	はい:25 分からない:1 ・きちんと説明していただいた。	今後も継続していきたい。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	送迎時にお話しさせていただいたり、電話や連絡帳などで対応の仕方などお伝えしている。	はい:16 どちらともいえない:4 いいえ:3 分からない:3 ・接し方や工夫の仕方は学ばせていただいている。 ・面談時や、こちらが相談したことに対してトレーニング方法や伝え方を教えていただいている。 ・送迎の際、困りごとに対してアドバイスをいただき感謝している。 ・家での困りごとを相談すると一緒になって親身に考えてくださり、本当に嬉しく思う。 ・あまり話す機会がないため、わからない。	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に伝えたり、連絡帳に記載したりして共有している。	はい:25 どちらともいえない:1 ・毎日連絡帳で詳しく教えていただいている。 ・送迎時に必ず出来事や課題などを伝えてくださる。 ・毎日利用するときに連絡帳で伝え合っていると 思う。	今後も継続していきたい。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	口頭、連絡帳の他、電話やメールでも受け付けており、対応、助言している。	はい:16 どちらともいえない:2 いいえ:1 ・連絡帳で園での様子を教えてもらい、対処法など勉強させていただいている。 ・適切にされていると思う。 ・個別懇談のときは、よく我が子を見てくれているなど、いつも感じる。 ・面談もあるが、もう少しあればいいと思う。	コロナの影響もあり面談時間が短くなってしまふなどした為、引き続き送迎時に保護者の方とお話が出来るように時間を設けていきたい。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	例年では茶話会を開き、保護者同士で話したり情報共有したりする機会を設けているが、今年はコロナの影響で中止。	はい:8 どちらともいえない:7 いいえ:6 分からない:2 ・コロナの関係で実施されていないと思う。 ・現在はコロナ禍のためないが、以前はあった。 ・保護者同士の交流面にも配慮を感じた。 ・コロナの前は茶話会を開催してくれて、保護者同士の交流があった。 ・保護者同士が会う機会がもう少しあればいいと思う。	コロナの感染拡大のため、交流が難しくなっている。 感染状況を見て、今後の交流再開を検討したい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約書に苦情窓口を記載している。	はい:18 分からない:8 ・経験していないため分かりません。 ・そういったことを耳にしないため、わからない。 ・苦情がないのでわからない。 ・苦情等があるのかわからない。	今後苦情があった場合は、迅速かつ適切な対応をしていきたい。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	日々の様子を写真や動画などもお見せしながら、保護者の方にお伝えしている。	はい:24 分からない:2 ・LINEなどでいただいている。 ・されていると思う。 ・LINEがメインのため、どの先生が対応しているかわからない。伝えていたことが伝わっていないことがあった。	どのスタッフが対応しているのが分かるように、今後は名前を入れてお伝えいたします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価(26人)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回通信便りを発行、HPのブログにて活動の様子を更新している。 その他の連絡について幾度便りやメールにて発信している。	はい:25 どちらともいえない:1 ・送っていただく写真や動画を楽しみにしている。 ・月に一度前月の出来事をHPのブログにアップしてくれている。同じく月に一度のラビット通信(会報)も楽しみにしている。 ・毎月ラビット通信を楽しみにしている。 ・ラビット通信は子どもも大好きで、もらうとよく見ている。 ・毎月のお便りでお知らせしてもらっている。今後も続けてほしい。	今後も継続していきたい。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報は事業所関係者内でのみ利用の旨をお伝えし、写真の利用範囲等も確認をしている。	はい:26 ・写真の取り扱いなどに気を付けてくださっている。 ・されていると思う。	今後も継続していきたい。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	警察の方に協力していただき、防犯訓練を行っている。 全職員が感染症の研修を受講し、嘔吐したときの対応など練習している。	はい:24 どちらともいえない:2 ・されていると思う。	防犯や感染症について、HPや通信便りなどで保護者の方にも通知していきたい。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に避難訓練を行っている。 実際に避難場所(近隣小学校)まで行き、避難経路の確認を行っている。	はい:21 どちらともいえない:3 分からない:2 ・されていると思う。 ・通信等で訓練をしている様子の報告を見た。	自然災害が増えてきているため、もう少し頻度を増やして実施していきたい。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	全職員、年に1回必ず虐待研修を受けている。 市町村が実施する虐待研修にも参加している。		今後も継続していきたい。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行う場合のある児童に対して、同意書をいただいた上で、個別支援計画書にも記載している。		今後も同様の対応を行っていきたい。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーがあるかどうか、契約時に確認している。ある場合、昼食を除去食にするか、弁当を持参いただくか選択してもらっている。おやつも同様。		今後も継続していきたい。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットがあれば用紙に記入し、職員間の連絡ノートにて共有している。		今後も継続していきたい。